

性能試験

○試験方法

JIS A 6519 体育館用鋼製床下地
構成材試験方法

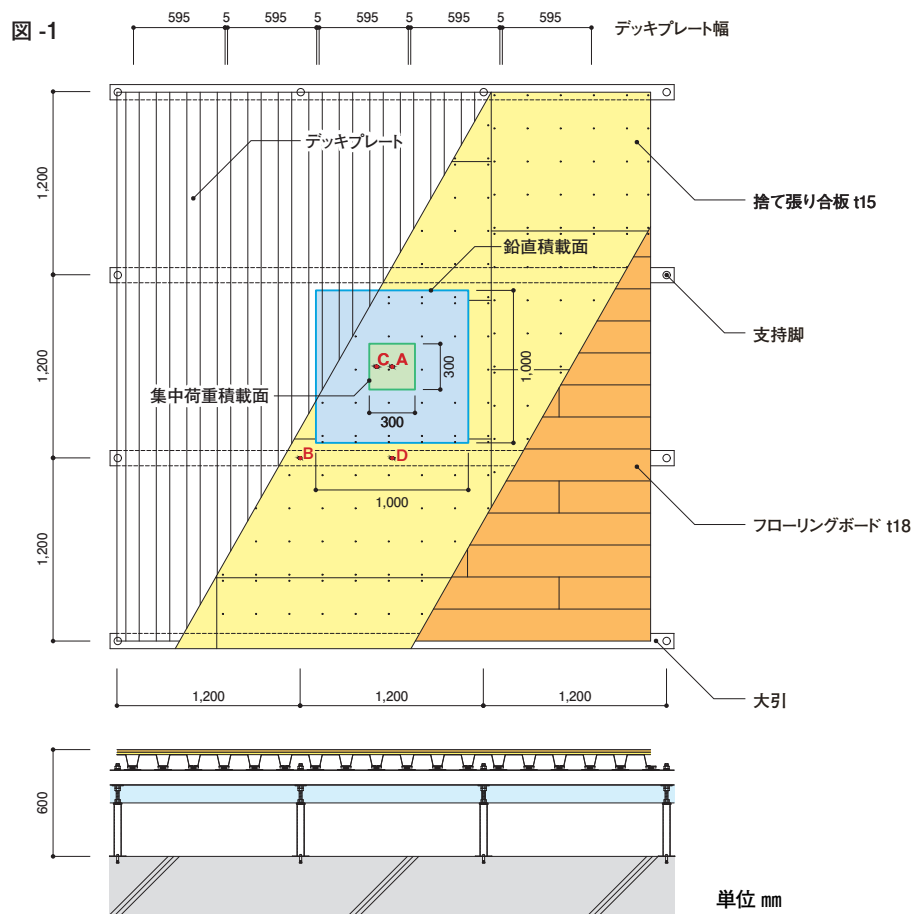
○試験機関

一般財団法人 建材試験センター

○試験体

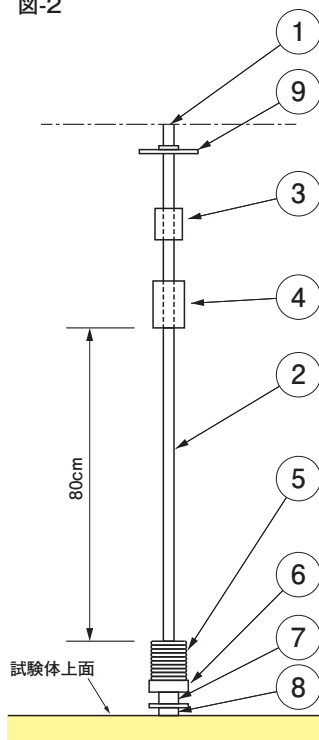
図-1の試験体

測定点：A、B、C、D



○床の弾力性測定装置

図-2



質量 5Kg のおもりを 80cm の高さから自由落下させ、試験体上部のゴムパネを介して、人間がジャンプし着地したときと同じ荷重を与えて、その時の人間の持っているエネルギーを吸収する「緩衝作用」と運動動作時に適度のはずみを与える「反発作用」および「振動の減衰作用」の 3 つの要素を複合し、その時の動的変形性状を測定する装置（図-2）により行います。測定点は、図-1 の中央 ABCD 各点

番号	名称
1	変位測定位置
2	重錘誘導管 (直径 27mm)
3	電磁石
4	おもり (5kg)
5	ゴムばね (外径 80mm、 内径 30mm、 厚さ 100mm、 シヨア A 硬度 10)
6	受け板 (直径 100mm)
7	荷重変換器
8	荷重板 (直径 50mm)
9	支持板

図-3 弾力性の評価値と物理量の関係

